

12. 沖縄（地域別調査機関：一般財団法人南西地域産業活性化センター）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連  (沖縄)	◎	＊	＊
	○	商店街（代表者）	・部分的には良くなっているが、全体的にはまだ厳しい状況が続いている。
	○	百貨店（経営担当）	・平均気温も徐々に下がり衣替えの需要が高まることが予想されるほかハロウィーン、クリスマス、お歳暮などの行事も多くなる。
	○	スーパー（企画担当）	・3か月後には、クリスマス、正月といった大きなモチベーションを控えており、新型コロナウイルス感染症に対する規制の緩和で例年よりも人流が活発化すると予想する。モチベーションで好調に推移し景気は良くなるのではないかと。
	○	コンビニ（経営者）	・クリスマスケーキやチキン等、お歳暮の予約に期待している。
	○	家電量販店（営業担当）	・来客数が回復している。
	○	その他専門店 [陶器]（製造）	・陶器に関しては11月は祭りも多く年末年始までは繁忙期だとみている。客先からは単価が低めで小さい物が国内客、海外客を問わず売れると聞いている。
	○	一般レストラン（代表者）	・歓送迎会や忘年会の間合せが増えてきている。
	○	その他飲食 [居酒屋]（経営者）	・予約状況から、11月は例年並みになりそうだが、忘年会シーズンに入ると大口客が戻ることが予想されかなり期待できそうである。
	○	観光型ホテル（代表取締役）	・宿泊について予約は堅調に入ってきている。特に修学旅行の宿泊があり稼働を上げている。しかし、2019年比の80%程度であり十分とはいえない。料飲部門については、忘年会予約が微増である。また、人員がそろっていないため予約を断っている日もあり、2019年比45%程度と厳しい状況が続いている。会社全体としては物価高騰、人件費上昇となり、売上がそれをカバーする状態までには至っていない。
	○	通信会社（営業担当）	・年末年始の商戦では財布のひもも緩み、高価格帯の商品の販売も増えるのではないかと期待している。
	□	コンビニ（店長）	・身の回りの景気に限って言えば、それほど変わらないとみている。新型コロナウイルス感染症発生前の日常に戻っているが、物価が上昇している影響か、新型コロナウイルス感染症発生前のにぎわいはないよう見受けられるため、きっかけがない限り現状が続く。
	□	コンビニ（副店長）	・年末に向かって消費を大いに期待したいところであるが、経済対策の混迷が予想され消費の鈍化が進むと危惧する。引き続き物価の上昇の影響と、最低賃金の引上げを受けた企業努力の限界がうかがえ、先行きの不安しかない。
	□	コンビニ（経営企画担当）	・現時点でも景気は良いとみられ、今よりも良くなる要素がない。
	□	衣料品専門店（経営者）	・例年であれば、今月辺りからシーズンものが本格的に動き出す時期であるが、まだ動き出す雰囲気がない。売上も上がってきていない。景気は良くない状態が依然として続いているとみられる。
	□	衣料品専門店（経営者）	・マラソン大会や年末年始などのイベントもあるので、観光客が増え、景気が良くなることに期待したい。
	□	乗用車販売店（経理担当）	・例年だと年末に向けて客の動きが鈍くなるが、季節変動の範ちゅうで収まるとみられる。
	□	旅行代理店（マネージャー）	・手配も増えてきているが、旅行代金が高くなっており、全国旅行支援も一通り終わったので今後は伸び悩みそうである。
	□	その他サービス [レンタカー]（営業）	・先行きの受注状況は引き続き好調に推移しており、特にインバウンド関係の受注は伸長している。
	□	住宅販売会社（代表取締役）	・建築資材や労務費が高止まりしており、客の住宅などへの建築購入意欲が後退している。
□	住宅販売会社（役員）	・あらゆる物価上昇のなか、多少の価格上昇は受け入れられているが、これ以上の価格転嫁は期待できない。	
▲	－	－	－
×	乗用車販売店（営業担当）	・来年、自動車の法改正に伴い車両のモデルチェンジがあり生産がストップする車両が出る。	

	×	観光型ホテル（企画担当）	・ホテルの10月の販売室数が前年比6%減少なのに対し、10月末時点の1月の予約室数は前年比28%減少で、マイナス幅が大きくなっている。
企業 動向 関連  (沖縄)	◎	—	—
	○	食料品製造業（役員）	・売上についてはインバウンドも増加し好調が続くとみているが、円安による生産者物価の上昇と人材不足も同じように続くので不安要素もある。
	○	窯業土石業（取締役）	・見積依頼で民間工事は横ばいの状況だが、公共工事が増加傾向であり下期は受注増加が期待できる。
	○	建設業（経営者）	・大きな案件が、具体的に動き出してきている。
	□	広告代理店（営業担当）	・人件費や資源価格の高騰を受け、県内企業の事業収益は厳しい状況が続いており、販売促進予算は微減又は現状維持となっている。
	▲	会計事務所（所長）	・世界的に紛争が散発しており、景気、為替への影響を懸念している。
	×	—	—
雇用 関連  (沖縄)	◎	—	—
	○	人材派遣会社（総務担当）	・県内観光業が活発になり潤って景気が良くなる。しかし、人手不足は否めない。
	○	求人情報誌製作会社（営業）	・11月と年明け1月は現在よりも増加すると予測している。年末の12月は減少と予測している。
	○	学校〔専門学校〕（就職担当）	・現在2025年卒向けの学内説明会の問合せを受けているところであり、学内予定では1月下旬より開始する予定である。それに伴い、多くの求人が見込まれる。
	□	職業安定所（職員）	・人手不足による事業廃止の相談が増えている。
	□	学校〔大学〕（就職支援担当）	・物価高騰はしばらく続く。
	▲	—	—
	×	—	—